

見直しを行う項目一覧

赤字:審議予定事項 緑字:第3回委員会での報告事項 黒字:第1回及び2回委員会で報告済みの事項

1. 新たな技術進歩・サービスへの対応

- 1.1 B787など新機種導入に向けた基準の見直し
- ・技能証明・機長認定(型式移行)、査察指名等
 - ・長距離進出運航(ETOPS)承認のための運航・整備経験期間の短縮
 - ・飛行間点検の取扱いの見直し
- 1.2 ビジネスジェットクラスの航空機を使用した不定期チャーター事業に係る基準の見直し
- 1.3 RNAV導入に向けた基準の見直し【報告済み】

2. 国際標準との整合性の確保

- 2.1 シカゴ条約第1附属書に対応した基準の見直し
- ・技能証明に係る制度改正(MPL・自家用操縦士の技量維持)【報告済み】
- 2.2 シカゴ条約第6附属書の改正に対応した基準の見直し
- ・認定事業場へのSMSの導入
 - ・AOCの写しの航空機への搭載の義務付け【報告済み】
 - ・非常口座席の取扱い【報告済み】
 - ・幼児の搭乗制限【報告済み】
 - ・飛行データ解析プログラム(FDM)の義務付け【報告済み】
 - ・電子航法データの品質保証システムのあり方【報告済み】
 - ・運航マニュアルへの地上支援業務手順の記載【報告済み】
 - ・モードCトランスポンダーの装備義務の拡大、高度精度向上【報告済み】
 - ・航空機用救命無線機(ELT)の装備義務【報告済み】
 - ・緊急用フロートの装備義務【報告済み】
- 2.3 長距離進出運航(ETOPS)に係る基準の見直し【一部変更】
- 2.4 カテゴリー I・II・III 航行に係る運航承認・許可基準の見直し【報告済み】

3. 国際間の相互承認の導入

- 3.1 BASAの締結
- ・シミュレータの認定／技能証明
 - ・装備品の修理／航空機の整備

4. 基準の合理化・手続きの合理化

- 4.1 客室業務の委託可能範囲の見直し【審議終了】
- 4.2 ヘリコプターの離着陸の場所・最低安全高度に係る許可の見直し【報告済み】
- 4.3 救難機関に対する夜間場外離着陸の許可基準の見直し【報告済み】

5. 民間能力の活用

- 5.1 機長等に係る各種審査の合理化【審議終了】【一部追加】
- ・機長認定審査・定期審査／査察操縦士の業務／LOFT訓練実施促進
- 5.2 予備品証明の運用の見直し【審議終了】
- ・海外の事業場における我が国装備品修理改造認定の取得促進
- 5.3 整備検査認定事業場の活用【報告済み】

6. その他

- 6.1 連続式耐空証明の交付基準の明確化【報告済み】
- 6.2 航空機の防除雪氷作業の取扱いの明確化【一部変更】
- 6.3 危険物に係る全社的な品質保証に係る基準の設定【報告済み】
- 6.4 複数の事業者に対する整備改造に係る事業場認定の基準の設定【追加項目】
- 6.5 外国航空機の安全確保【追加項目】